

# 2019年企業グループ別 ゴルフ場保有ランキング

トップは  
アコーディア・ゴルフ-NXグループ  
3位以下のランク変動をもたらす

本誌姉妹紙『隔日刊ゴルフ特信』は毎年、ゴルフ場企業の保有ランキングを発表しており、今回は大手企業グループのトップが入れ替わった。

今年4月1日時点のゴルフ場を保有する企業グループのランキング（国内既設ゴルフ場のホール数基準）は、アコーディア・ゴルフ-NXグループがトップとなった。アジア系ファンドのMBKパートナーズ・グループが、今年3月にネクスト・ゴルフ・マネジメント（株）（NX、元・オリックス・ゴルフ・マネジメント（株）、旧・日本ゴルフマネジメント（株））を傘下に収めた。39コース、792Hが加わったことで、アコーディア・ゴルフ（AG）の44コース、936ホール（以下Hと略）、アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社（AGA）の90コース、1906Hを合わせ173コース、3634Hとなった。

NXの吸収に伴い、AGとAGAを含む3社のゴルフ場企業グループ名を「アコーディア・ゴルフ-NXグループ」と表記することにした。なお、NX以外の同グループの1年間の動向は、AGが1

コース減少する一方2コース増加し、差し引き1コース、27H増であった。

2位グループは前年まで4年連続トップだった平和・PGMグループ。前年同期からは1コース減、2コース増で差し引き1コース増、H数としては36H増としたが、NXの39コースが加わったアコーディア・ゴルフ-NXにトップを譲った。ただ運営会社単位としては、アコーディア側がAG137コース、NX39コースとそれぞれ分かれているので、PGMの140コースが最多となっている。

## 3位以下の変動大きく 2グループが圏外からランク イン

3位以下については、前年4位だった当時のOGMがMBKパートナーズに吸収され、アコーディア・ゴルフ-NXグループが保有トップとなったことを受けて、順位が繰り上がった。

3位には前年5位の西武グループが29コース、675HとH数に変動ないものの繰り上がり、以下、4位市川ゴルフ興業グループ（28コース、531H）、5位東急グ

ゴルフ場企業グループゴルフ場保有ランキング推移（国内既設H数）

ランク	2000年			2005年			2010年			2019年		
	グループ名	コース数	H数	グループ名	コース数	H数	グループ名	コース数	H数	グループ名	コース数	H数
1	西武グループ	42	1,044	ゴールドマン・サックス	85	1,800	アコーディア	131	2,761	アコーディア・ゴルフ・アセット (AGA)	90	1,906
2	日東興業グループ	30	666	ローンスター	78	1,737	PGMグループ	123	2,691	アコーディア・ゴルフ (AG)	44	936
3	スポーツ振興	30	585	西武グループ	46	1,134	オリックスグループ	38	774	NX (元・オリックス)	39	792
4	東急グループ	29	585	富士カントリーグループ	19	477	西武グループ	28	675	平和・PGMグループ	138	3,033
5	日本ゴルフ振興	28	576	東急グループ	24	468	市川造園土木	29	579	西武グループ	29	675
6	富士カントリー	22	540	市川造園土木	20	396	東急グループ	28	558	市川ゴルフ興業グループ	28	531
7	地産グループ	16	414	太平洋グループ	18	351	ユニマツグループ	22	414	東急グループ	26	522
8	緑営グループ	18	369	ミサワグループ	16	297	太平洋グループ	17	333	チェリーゴルフグループ	18	333
9	大洋緑化グループ	14	279	大洋緑化グループ	14	279	明智GC・房総CCグループ	10	297	太平洋グループ	17	333
10	太平洋グループ	13	261	新日本観光グループ	9	243	リゾートトラストグループ	12	270	ユニマツグループ	18	324
注:グループ名はランキング当時				外資系	188	4,050	外資系	320	6,838	外資系	228	4,732
				韓国系	11	216	韓国系	45	900	韓国系	47	927
				その他外資	177	3,834	その他外資	275	5,938	その他外資	181	3,805

グループ（26コース、522H）と、保有ゴルフ場H数は前年同様ながら順位が2つ繰り上がった。  
 6位は、チェリーG一庫C（18H、兵庫）と播州CC（同、同）2コースの閉鎖でグループゴルフ場数が18コース、333Hに減少したチェリーゴルフグループ。  
 7位はチェリーゴルフグループと同じH数ながら17コースと少ない太平洋クラブ。今年8月1日からは八千代GC（18H、千葉）の運営を始める発表し、保有20コースを目指す目標としていることから、今後が注目される。  
 8位は18コース、324Hのユニマツグループ。4月以降、民事再生計画のスポンサーに就任したり、小浜島CC（18H、沖縄）の星野リゾートへの売却を発表したりと保有コースは変更の予定がある。

9位から10位はH数がユニマツグループと同じ324Hながらコース数の違いで9位シャトレーズ、10位GCEグループとなった。13位は1コース閉鎖と1コース売却のリゾルグループが11コース、234Hに入った。  
 また動きのあったところではJGM（ロイヤルGCグループ）が規模縮小も、11コース、216Hで16位。韓国産業洋行（エイチ・ジェイ）は山代GC（36H、石川）を取得して9コース、207Hとなり、前年の27位から大きくジャンプアップした。同グループのオーナーは韓国のゴルフ関連企業でもあるが、日本の千葉夷隅GCや米原GC（ともに千葉）など実績のあるコースを核に着実にグループコースを増やしている。  
 川島グループも安達太良CC（18H、福島）を加え10コース、198Hで前年の23位から18位にジャンプアップしてグループ上位ランク入りした。元々は静岡県浜松市の非鉄貴金属リサイクルの会社だが、地元のショートコース経営等から近年、ゴルフ場経営を拡大した。  
 189Hで大和ハウス工業と加森観光が並んだが、コース数が10コースと多い大和ハウス工業をランク上位の20位とした。  
 一方、MBKパートナーズ・グループと韓国系の韓国産業洋行がゴルフ場H数を増やしたことから外資系ゴルフ場数は228コースで4732Hとなり、前年同期よ

り42コース、873H増加している。  
 上位ランク圏外をみても、平成23年末にゴルフ場事業に初進出し

たバンリユーゴルフ(徳山CC、東の宮GC等経営)がコンスタントにゴルフ場を傘下に収めるなどの動きがあり、今後もゴルフ場保有

2019ゴルフ場企業グループ国内既設ゴルフ場保有ランキング

国内既設ゴルフ場 2019	2018	グループ名	2019年国内既設		2018年国内既設		増減	
			コース数	H数	コース数	H数	コース数	H数
1	3	アコーデイト・ゴルフ-NXグループ	173	3,634	133	2,815	40	819
	2	アコーデイト・ゴルフ (AG)	44	936	43	909	1	27
	4	アコーデイト・ゴルフ・アセット台同会社 (AGA)	90	1,906	90	1,906	0	0
	4	NX (元:OGM) グループ	39	792	39	792	0	0
2	1	平和・PGMグループ	138	3,033	137	2,997	1	36
3	5	西武グループ	29	675	29	675	0	0
4	6	市川ゴルフ興業グループ	28	531	28	531	0	0
5	7	東急グループ	26	522	26	522	0	0
6	8	チェリーゴルフグループ	18	333	20	369	-2	-36
7	9	太平洋グループ	17	333	17	333	0	0
8	10	ユニマツトグループ	18	324	18	324	0	0
9	11	シャトルセ	16	324	16	324	0	0
10	12	GCEグループ	14	324	14	324	0	0
11	13	明智GC・厚総CCグループ	10	297	10	297	0	0
12	14	リゾートトラスト	13	288	13	288	0	0
13	15	リソルグループ	11	234	13	270	-2	-36
14	16	東京建物	9	243	12	243	0	0
15	17	新日本観光グループ	2	243	9	243	0	0
16	18	JGM (ロイヤルGC) グループ	11	216	11	234	0	-18
17	27	韓国産業洋行 (エイチ・ジェイ)	9	207	8	171	1	36
18	23	川島グループ	10	198	9	180	1	18
19	19	安達建設グループ	8	198	8	198	0	0
20	20	大和ハウス工業	10	189	10	189	0	0
【外資系】 トータル			228	4,732	186	3,859	42	873

この1年間の動向と今後の見込み (括弧内はホール数)

◆は営業休止や再開等で保有数に関係ない、△は増加、▽は減少、▲は増加予定、▼は減少予定  
 フジ系系の投資ファンド・MBKパートナーズ傘下。今回から3社グループを統合して集計。△ラビーム白浜GC (18)、△宇津峰CC (27)、四街道GC (18)、NX39コース。運営は176コース3706Hで18H換算205・9コース  
 △ラビーム白浜GC (18)、△宇津峰CC (27)、四街道GC (18)、保有は18H換算52コース、AGA含む保有コース数は134コース2842H、他に運営受託等3コース22H含む運営は137コース2914H。※フジ系系の投資ファンド・MBKパートナーズグループ傘下  
 2014年8月にアコーデイト・ゴルフからビジネストラスト (BT) により90コースの資産 (ゴルフ場会社株式) を引き取り、保有は18H換算105・9コース  
 18H換算44コース、※フジ系系の投資ファンド・MBKパートナーズグループ傘下  
 △大多喜CC (18)、レイクウッド大多喜CC、27、PGM総成GC (18)、レイクウッド総成CC、27、△レオ高原GC (18)、保有は18H換算167・5コース、運営受託等含む運営は140コース (18H換算172コース3096H)、▲富士御殿場GC (18)

市川金次郎氏の個人事業で従来の市川造園土木グループとは独立して展開

△阿蘇東急GCは熊本地震の影響でH28年4月中旬から営業休止中も30年7月9日で再開、31年4月18日営業再開

※チェリーG諸名川CはH29年4月1日営業再開、▽チェリーG一庫C (18)、播州GC (18) 2コース閉鎖で減少

※精マルハンの子会社、▲八千代GC (18)  
 ▼小浜島CC (18)、▲21センチリールC富岡C (18)

△備前GC (18) H30年1月から閉鎖、裾野CC (18)  
 △山代GC (36)  
 △山代GC (36)  
 △安達太良CC (18)

△JGMサラレックGC規模縮小 (36→18)

内訳は韓国系47コース2927H (2コース増・54H増)、その他外資181コース3805H (40コース増・819H増)

H31年4月1日段階、更生法・更生法でのスポンサー内定段階 (手続中) のゴルフ場はスポンサー側のグループに集計していない、MBKパートナーズ系3社は1グループで集計し外資系でカウント。